

1	審議会名	丸子地域協議会
2	日 時	平成27年9月24日(木) 午後1時30分から午後2時45分まで
3	会 場	丸子地域自治センター 4階 講堂
4	出席者	齋藤重一郎会長、丸山かず子副会長、内田弘子委員、小澤厚委員、工藤裕子委員、久保田和英委員、後藤有希委員、佐藤重喜委員、清水三枝委員、下村晴一委員、関本吉人委員、塚越洋子委員、西村勇委員、宮崎涼委員、宮下正明委員、横井優司委員、吉田暘一委員 【欠席委員3名】
5	市側出席者	谷仲丸子地域自治センター長、丸山丸子地域自治センター次長兼地域振興課長、石井丸子地域教育事務所長兼地域政策課政策幹、高野市民サービス課長、横井産業観光課長、芦田建設課長、竹花丸子・武石上下水道課長、池内丸子学校給食センター所長 (事務局)柳沢地域政策担当係長、清水統括主査、中山主査、竹花主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	一般2人・記者2人
8	会議概要作成年月日	平成27年10月8日
協 議 事 項 等		
1	開 会 (丸山センター次長)	
2	会長あいさつ	
3	協議事項	
	(1) 継続案件「丸子公園及び安良居神社一帯の整備と活用について」	
	・ 前回、時間超過のため打ち切りとなった案件の継続審議。協議会としての対応をどうするか検討。	
	・ 以降、協議	
	(提案委員) 安良居神社は歴史的・文化的な価値がある。江戸末期から昭和30年代までの古文書も保管している。前回、神社に対しては公金の支出が出来ないとの説明があった。地元でも努力はしているが、それだけでは無理がある。文化遺産を残す観点でお考えいただけないか。	
	(委員) 神社に対して公金支出が出来無いという大前提がある以上、地域協議会としてはこれ以上は無理と思う。他地域のような実行委員会を立ち上げて取り組んでいくべき。	
	(委員) 先ず、上丸子区の住民が寄付等で動いてみせて、それから行政にお願いして市内全体へ呼びかけたらどうか。	
	(委員) 上田の招魂社の事例の説明を。	
	(行政) 政教分離の観点から市の支援は不可。7/12 信毎記事によると、実行委員会組織を立上げ、広く改修の支援を呼びかけたとの事。神社庁コメントとして、各地で同様の事例があるが、今は支えてくれる者を探すしかないとの事である。	
	(委員) やはり、広く賛同者を募ったほうがよい。補助金の支援も明確にさせていただく。	
	(委員) 公金注入は出来なくても、それ以外のアイデアや提案のサポートは行政として可能か。	
	(行政) 歴史的文化財については、市の補助金要綱による。その範囲での支援。それ以外の人的支援等は困難。地元の実行委員会等にて対応いただきたい。	
	(委員) 修理費はものすごくかかるとのこと。魅力アップ応援事業も宗教的なことは不可。氏子組織も無く、実行委員会の立上げが心配。	
	(委員) 招魂社の例からわかるように、市の支出根拠はない。安良居神社が丸子町の神社というわけではない。地域ごとに神社はあり、各々地元で自助努力で修理しているのが現状だ。	
	(委員) 他にも神社がある以上、安良居神社に特化するのめいかなものかと思う。	
	(委員) 公園整備の一部として対応いただけるものと思っていた。山の崩れ等もあり、そこには公園もある。公園整備として含めて柔軟に対応いただけたらと思うのですが。	
	(委員) 公園はもう少し整備して活用しやすくしてほしい。危険箇所もあるのだから、公園整備はきちんとやっていただきたい。神社建物については、いい案が見当たらないが、何らかの手は打たなければならないと思う。	
	(提案委員) 地元でももちろん色々考える。ただ、人口減少の中で、維持は困難。壊れて朽ち果てて	

も仕方が無いと考えるならしょうがないのだけれど、文化財を残すという観点で、補助率をもう一度お考えいただけないものか。そういう提案は出来ないか。

(委員) 山側の危険箇所は、是非公園事業で対応を。

(委員) 毎年、神社は神社庁に数千円の上納金を出している。神社庁から何らかの対応は期待できないか。また、今はネットの時代。神社の歴史や由緒を紹介し、傷みの状況等も報告して寄付を募ってみたらどうか。

(委員) クラウド・ファンディングというネットで寄付金を集めるサイト等もある。こういったものを活用してみるのも一つの手。行政からは、知恵をお出し頂いたり、有志団体等の紹介をお願いできないか。

(委員) 地域協議会の中で議題としていくのはやはり難しい。賛助者を募り寄付を頂くしかない。

(委員) 私の自治会にも神社がある。雨漏りの修理を地区内の寄付で対応した。この問題は、やはり寄付に頼らざるを得ないのが実感だ。

(委員) 地域で各々かかえている問題。安良居神社にしても地元で何百年という歳月を守ってきている。手を尽くしてこれをしなくてはいけない。地域の歴史文化は、基本的に自分たちで守っていくべき。

(委員) 蚕影社や撰社を至急文化財に指定する考えはあるか。

(行政) 先ずは今の状態で申請を。指定文化財になれば、寄付が集め易くなるきっかけになる。

(委員) 神社裏の地崩れ調査はどういう状況か。

(行政) 蚕影社や撰社のほうには石積みがある。これは神社部分と思う。その上に立ち入り禁止の有刺鉄線がある。地崩れ部分が公園区域かどうかは、公園緑地課を含めての立会いにて確認したい。

(委員) 立会いは早く対応を。拝殿の雨漏り等、神社関係は地域協議会として対応は無理。

(行政) 北側に崩れあり。このあたり、重機で掘削すると、傾いている撰社の倒壊が懸念。

(会長) やはり、地域協議会の議題にはなじまないと判断する。結論は出せ無いとの方向性で締めくくりたいがどうか。公園部分はしっかりと安全管理を。丸子公園や安良居神社は地域で親しみがあがる。いい形で残せるように尽力を。

(一同) 異論なし

(委員) 補助金額の見直しを要望することは、協議会として出来るのではないか。

(会長) 事務局に検討頂き、次回、そのあたりの提案ができるのかを考えてみたい。

4 報告事項

(1) 県道上田塩川線の小牧線入口の交差点改良工事について

- ・ 10月上旬から3月末まで片側通行止めにて、交差点改良工事実施。市道丸子小牧線を主本線とし、そこに県道上田塩川線を接続させるT字型の交差点に。全工事区間340m。

(2) 「新生上田市建設計画」の変更に係る諮問内容の事前提示について

- ・ 10月の地域協議会の諮問案件の事前提示。
- ・ 合併特例債の起債期間の5年間延長等についての内容。

(3) 丸子まちづくり会議準備会からの報告について

- ・ 第6回会議の報告。主に、住民自治組織の区割りや組織形態の検討。
- ・ 今後、自治会や活動団体との意見交換を実施。

(4) 分科会及び研究会での検討状況について

(ア) 丸子地域の子育て支援に関する分科会

- ・ 8月26日の協議会後に分科会開催。中丸子保育園園長との懇談会。
- ・ 中丸子保育園、中丸子支援センターの現状と問題点等について懇談。

(イ) 公共交通に関する分科会

- ・ 8月26日協議会後、分科会開催。「まりんこ号」のルート変更についての意見書について検討。
- ・ 本日9月24日の協議会前に分科会を開催、本日意見書案の事前提示を決定。
- ・ 本日、意見書案の事前提示。事務局より説明。

(ウ) 新しい観光分科会

- ・ 8月26日分科会、9月3日に鹿月荘とクアハウス視察。

・今後、意見収集のためのアンケート実施予定。内容等を検討する。

5 その他

(1) 次回以降の会議日程について

第7回協議会 10月28日(水) 午後1時30分 丸子地域自治センター4階講堂

第8回協議会 11月25日(水) 午後1時30分 丸子地域自治センター4階講堂

(2) その他

・(委員からの情報) 丸子太鼓古城の情報：9月26日(土) 丸子太鼓古城の活動紹介とミニコンサートの御案内。

6 閉会

* 本日の分科会・研究会の開催

子育て支援分科会 第3会議室

公共交通分科会 協議会後の開催なし (同日 13:00-13:15 開催)

新しい観光分科会 第2会議室